



DMC.micro



日本語マニュアル

目次

1. コントロールと接続	...3
2. DMC.micro のセットアップ	...4
3. SETUP モード 設定の基本操作	...4
4. MIDI デバイスの設定	...5
5. Preset (プリセット) モード	...7
6. d Ev (デバイス) モード	...7
7. Looper (ルーパー) モード	...7
8. UTIL (ユーティリティ) モード	...8
9. SETUP メニューのパラメーター 一覧	...9

1. コントロールと接続

DPC.micro は、2つのフットスイッチ、4文字表示のディスプレイ、そして2つのLEDで構成されています。

LEFTフットスイッチ

- 一度押すと、使用中のモードのパラメーター値が下降。
- dEvモードでの長押しで、ALT機能をオン/オフする。
- Programモードでの長押しで、現在の設定を保存。

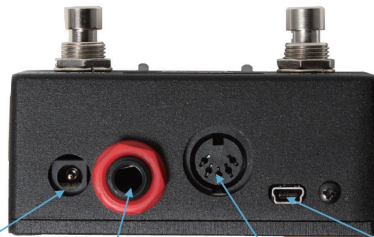
RIGHTフットスイッチ

- 一度押すと、使用中のモードのパラメーター値が上昇。
- 長押しで次のページに移動。



LEDが使用中のステータスを表示

- Left LED：信号を送信=青LED一時点灯 / dEvモードにてALT機能がオン時=赤LED点灯
- Right LED：信号を送信=青LED一時点灯



DC 9V：

9V / センターマイナスの電源アダプターを接続します。動作に必要な電流量は64mAです。

MultiJack：

Disaster Area 独自の機能を有する MultiJack です。エクスペッション入力やタップ信号、MIDI 信号の送信など使用方法に合わせて設定できます。

MIDI 端子：

通常、一般的な5ピンMIDI出力端子として使用します。(ピン4&5) 同時にこの端子はMIDI入力としても使用できます。(ピン1&3)

USB MIDI (USB Mini-B)：

通コンピューターやiPad (要 Apple Camera Connection Kit) と接続する際に使用するUSB端子です。USB経由でMIDIの送受信を行います。

2. DMC.micro のセットアップ

MIDI には大きく 2 つの種類が存在します…「送信機」と「受信機」です。DMC は、主に「送信機」として使用します。そして Strymon Timeline や Line 6 M9 と言った「受信機」に MIDI メッセージを送り、プリセットや設定を切り替えます。

DMC.micro は最大 3 つの異なる MIDI 情報を送信できます。

通常、MIDI 信号は 5 ピン MIDI 端子を通じて送受信されていました。しかし昨今は 1/4" フォン端子や USB 端子を通して受信するエフェクターも増えてきました。DMC シリーズにはそれらに対応するよう、DIN-5 ピン端子のみならず 1/4" フォン端子や USB 端子も備えています。全ての端子のからは同じ信号が出力されますので、MIDI チャンネルを振り分けることで DIN-5 ピン端子を使用するラック機器と、1/4" フォン MIDI を使用するコンパクトエフェクターを同時に操作できます。

MIDI 機器を数珠つなぎにすると、遠い危機に情報の遅延が発生するリスクがあります。複数の出力を持った MIDI スルーボックスを使用するのも手ですが、DMC シリーズのように複数の MIDI 出力を持つ機器から各接続機器に対応した MIDI 出力端子から信号を送信するのもリスク解決の方法の 1 つです。

3. SETUP モード 設定の基本操作

1. DMC.micro の電源をオンにし、「Disaster Area…」とスクロール表示されたら LEFT フットスイッチを押したままにします。
2. SETUP と表示されたらスイッチを放します。
3. LEFT / RIGHT のフットスイッチで MENU 内をスクロールし、LEFT フットスイッチ長押しで操作（設定）したいカテゴリに入ります。
4. 各カテゴリ画面から MENU 画面に戻る場合、LEFT フットスイッチ長押しします。
5. 設定を保存する場合は、MENU 画面で RIGHT フットスイッチを長押しします。
6. 設定を保存せずに終了する場合は、MENU 画面で LEFT フットスイッチを長押しします。

dEv :

MENU 内「dEv」で、コントロールするデバイス数（送信する異なる MIDI 信号の数）を設定します。

- ・ dEv A = 1 つ
- ・ dEv B = 2 つ
- ・ dEv C = 3 つ

dEv A ~ dEv C :

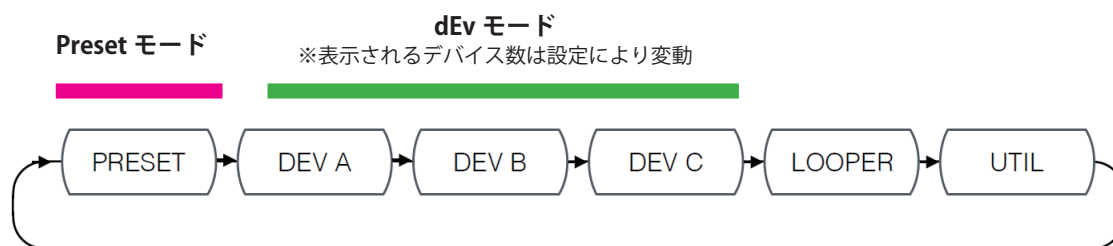
各デバイスの設定を行います。「dEv A」は、デバイス A の設定です。MIDI チャンネルは 1 で、デフォルトでデバイスの種類は Strymon Timeline に設定されています。MIDI チャンネルはデバイス B が 2、デバイス C が 3 です。LEFT / RIGHT フットスイッチを押すと、デバイスの種類リスト内をスクロールします。

接続している機器にあったデバイス（種類）を選択し、LEFT フットスイッチを長押しして決定 & MENU に戻ります。

基本操作

RIGHT フットスイッチを長押しする度に、以下の順番で画面の表示（モード）が変わっていきます。

※ MENU で OFF に設定されているモードがある場合、そのモードは表示されません。



例 1: 「PRST」メニューが「OFF」に設定されている場合、この図での PRESET は表示されません。LOOPER = 「LPR」、UTIL = 「UTIL」も同様です。

例 2: 「dEv」メニューで「dEvA」が選択されている場合は DEV A のみ有効と設定されているため、この図での DEV B と DEV C は表示されません。

重要!

全てのモードを OFF にすると、正常に起動できずフリーズしてしまいます。必ず最低でも 1 つは ON に設定してください。誤って全てを OFF に設定してしまった場合は、SETUP モードで何か 1 つを ON に設定してください。

注意: Multijack から MIDI 信号を出力する場合、「JACK」を「MIDI」または「MIDI2」に設定し、内部 DIP スイッチを ON-ON-ON にする必要があります。

注意: USB から MIDI 信号を出力する場合、「USB」を「HOST」に設定する必要があります。DEV C は表示されません。

4. MIDI デバイスの設定

MIDI 端子の種類、接続先、本機 MENU 内での操作場所

Connection Type	Cable Type	Connects To	Configuration Menu
5-pin DIN (1, 2 or 3 devices total)	MIDI Cable	DMC MIDI port	
1/4" Meris, Empress, Alexander	1/4" patch cable	MultiJack	Configure JACK = MIDI
1/4" Chase Bliss	MJ-CBA	MultiJack	Configure JACK = MIDI
2x 1/4" Meris, Empress, Alexander	MJ-Y	MultiJack	Configure JACK = MID2
2x 1/4" Chase Bliss	MJ-Y-RP2	MultiJack	Configure JACK = MID2
Chase Bliss & Meris, Empress, Alexander	MJ-Y-RP1	MultiJack	Configure JACK = MID2
USB MIDI / Zoom	USB + gHOST Adaptor	USB Port	Configure USB = HOST

各メーカー機器に対応した設定

Strymon

Strymon 機器で、MIDI 信号をスルーさせるには設定を行う必要があります。また、ルーパー使用時にはバイパスを「trails」に設定する必要があります。

Strymon Timeline :

Globals メニューで、以下の様に設定します。

- MIDITH: ON
- MIDIPA: OFF
- MIDICT: OFF
- MIDICH (DevA の場合は MIDI CH 1 に、DevB の場合は MIDI CH 2 に設定)
- MIDICL: ON
- MC SWP: OFF
- LPEXIT: PLAY
- BYPASS: BUFBYB

Strymon Mobius、BigSky :

Globals メニューで、以下の様に設定します。

- MIDITH: ON
- MIDIPA: OFF
- MIDICT: OFF
- MIDICH: (DevA の場合は MIDI CH 1 に、DevB の場合は MIDI CH 2 に設定)
- BYPASS: BUFBYB (BigSky の場合は推奨、Mobius の場合は任意)
- MIDICL: ON (Mobius)、OFF (BigSky)

CHASE BLISS AUDIO

DMC-3X の SET UP メニューで、DevA (または B ~ D) のデバイス名 (種類) を「CBA」に選択します。

1. TAP と BYPASS を押しながら CHASE BLISS 機器の電源をオンにします。
2. DMC-3X の LEFT / RIGHT スイッチを押して、CHASE BLISS 機器にバイパスやプログラム変更の信号が正しく送られているか確認してください。

※ CHASE BLISS 機器との接続には、5 ピン MIDI 端子から 1/4" フォン MIDI 端子への変換が必要です。

EVENTIDE (H9、SPACE、TIMEFACTOR、MODFACTOR、PITCHFACTOR)

H9 Control を使用する場合：

- Pedal -> MIDI Settings -> MIDI Channel
- MIDI Receive Channel を使用したい MIDI チャンネルに設定
(DevA の場合は MIDI CH 1 に、DevB の場合は MIDI CH 2 に設定)
- Pedal -> MIDI Settings -> Assign MIDI CC Messages.
- Map Tap Tempo を MIDI CC 44 に設定
- Map Performance Switch を MIDI CC 46 に設定
- Map Toggle Tuner を MIDI CC 69 に設定
- Map Activate を MIDI CC 42 に設定
- Map Set Expression Pedal Value を CC 48 に設定

本体の MIDI メニューを使用する場合：

- RCV CHANNEL を使用したい MIDI チャンネルに設定
(DevA の場合は MIDI CH 1 に、DevB の場合は MIDI CH 2 に設定)
- RCV CTL > TAP C42
- RCV CTL > HOTSW C46
- RCV CTL > ACTIVE C42
- RCV CTL > PEDAL C48

H9 や Timefactor でルーパー機能を使用する場合の設定：

- Looper - Record MIDI CC 87
- Looper - Play MIDI CC 86
- Looper - Stop MIDI CC 85
- Looper - Empty MIDI CC 90
- Looper - Flip Direction MIDI CC 94
- Looper - Flip Octave MIDI CC 95

BOSS DD-500

MIDI チャンネル 1 以外を使用する場合には、DD-500 側での設定が必要です。

- MIDI > Rx CHANNEL で MIDI チャンネルを合わせます。
DevB の場合は ch.2、DevC の場合は ch.3…
タップテンポを受信できるようにするためには、以下の設定は必要です。
- CONTROL > CTL1 Func を TAP に設定。
- CONTROL > CTL1 PREF を SYSTEM に設定すると、全てのプリセットにタップテンポが適用されます。

※ PC IN と CC IN は両方とも ON に設定されている事を確認してください。

5. Preset（プリセット）モード

プリセットの保存と呼び出しができるモードです。
接続している全ての機器に信号を送り、まとめてコントロールします。

プリセットの呼び出し方法

LEFT / RIGHT フットスイッチを押す度にプリセット番号が上昇／下降します。

プリセットの保存方法

1. PRESET 画面で、設定したいプリセット番号を選択します。（例：P.0.1.）
2. RIGHT フットスイッチを長押ししてデバイスモードに移り、そこで各デバイス（dEv A～C）の呼び出したいプリセットやバイパス設定を選択します。
3. RIGHT フットスイッチを（必要な場合、複数回）長押しして、プリセットモードに戻ります。
4. LEFT フットスイッチを長押しすると画面に「SAVE」と点滅表示され、現在の内容が保存されます。

6. d Ev（デバイス）モード

LEFT フットスイッチ：プリセットの番号が下がります。長押しでバイパスします。

RIGHT フットスイッチ：プリセットの番号が上がります。

ディスプレイには選択されているデバイス（A～C）と、プログラム番号が表示されます。

設定されている機器によって、それぞれに対応した表示がされます。

最も低いプログラム番号に達すると「dc」と表示されます。これは「don't change」を意味し、プリセット信号は送られません。

7. Looper（ルーパー）モード

接続している機器にルーパー機能が搭載されている場合、それをコントロールするモードです。

対応機種：Strymon Timeline、Eventide H9、Eventide Timefactor、Line 6 M9 / M13

※ Eventide では、ルーパーが割り当てられたプリセットを作成する必要があります。そのプリセットが使用されている状況でのみ、コントロールができます。

LEFT フットスイッチ：録音／オーバーダビング／再生

フットスイッチを押すと録音が始まります。

再び押すと、録音の最終点として決定され、冒頭からのオーバーダビングが始まります。

もう1度押すとオーバーダビングが止まり、ループが再生されます。

長押しすると、undo / redo します。

RIGHT フットスイッチ：再生／停止

フットスイッチを押すとループの再生が始まります。

再び押すと、ループの再生をストップします。

ループ再生が停止中に録音を開始すると、既存のループは消去（上書き）されます。

8.UTIL (ユーティリティ) モード

ULT: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを押した時の動作。

- ONE - Value 最高値のメッセージを 1 度だけ送信します。
- TOGG - Value 最高値と最低値のメッセージを交互に送信します。
- RTN - Value 最高値のメッセージを送信した直後に、最低値のメッセージを送信します。
- b UP - Strymon の大型機器 (Timeline など) の BANK UP 信号を送信します。
- b DN - Strymon の大型機器 (Timeline など) の BANK DOWN 信号を送信します。
- NOTE - Value 最高値のノート信号を 1 度だけ送信します。

ULN: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを押した時に送信する CC 番号 / ノート番号 (0 ~ 127)。

ULL: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを押した時に送信する最低 Value 値

ULH: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを押した時に送信する最高 Value 値。

ULC: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを押した時に送信するメッセージのチャンネル。

URT: ユーティリティ・モード時、RIGHT フットスイッチを押した時の動作。 ※ 設定は ULT と同じ。

URN: ユーティリティ・モード時、RIGHT フットスイッチを押した時に送信する CC 番号 / ノート番号 (0 ~ 127)。

URL: ユーティリティ・モード時、RIGHT フットスイッチを押した時に送信する最低 Value 値。

URH: ユーティリティ・モード時、RIGHT フットスイッチを押した時に送信する最高 Value 値。

URC: ユーティリティ・モード時、RIGHT フットスイッチを押した時に送信するメッセージのチャンネル。

UAT: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを長押しした時の動作。

- ONE - Value 最高値のメッセージを 1 度だけ送信します。
- TOGG - Value 最高値と最低値のメッセージを交互に送信します。
- NOTE - Value 最高値のノート信号を 1 度だけ送信します
- b UP - Strymon の大型機器 (Timeline など) の BANK UP 信号を送信します。
- b DN - Strymon の大型機器 (Timeline など) の BANK DOWN 信号を送信します。

UAN: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを長押しした時に送信する CC 番号 / ノート番号。

UAL: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを長押しした時に送信する最低 Value 値。

UAH: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを長押しした時に送信する最高 Value 値。

UAC: ユーティリティ・モード時、LEFT フットスイッチを長押しした時に送信するメッセージのチャンネル。

SET UP メニューのパラメーター 一覧

PRST: プリセット・モード

プリセット数 0～127

OFF に設定すると、プリセット・モードは無効になります。

PCH: プリセット・モードのチャンネル選択

A B C と 0 で、4 つの接続機器の有効／無効を選択します。

A=ch1 B=ch2 C=ch3 0=無効。

※ 0 が選択されているポジション (MIDI CH) の機器に MIDI 信号は送られません。

DevA DevB DevC: 各デバイスの設定

それぞれが何のデバイスをコントロールするかを設定します。

設定できる機種の一覧は、5 ページ目のリストをご参照ください。

LPR: ルーパーモードの設定。

A B C と 0 で、4 つの接続機器のルーパー機能 ON / OFF を選択します。

UTIL: ユーティリティ・モードを使用する／しないかの設定

・OFF - ユーティリティ・モードを使用する

・ON - ユーティリティ・モードを使用しない

JACK: Multijack 端子の設定

JUR: ユーティリティ・モード時、Multijack 端子から送信する CC#。

JCH: Multijack 端子のチャンネル設定

BRT: LED の明るさを 10 段階で設定します。

HOLD: フットスイッチ長押し時の長さを 3 段階で設定します。

USB: USB 端子の設定

・MIDI - USB 端子は MIDI インターフェースとして機能し、コンピューターとの通信を可能にします。

・HOST - USB 端子は USB HOST として機能し、USB MIDI デバイスのコントロールを可能とします。

※ 要 gHOST アダプターケーブル (別売)

InCH: MIDI 入力チャンネルの設定

・1～16 - MIDI チャンネル 1～16 から選択。

・OFF - MIDI IN、MIDI THRU を使用しない。

DUMP: SysEx のデータ転送。

FACT: ファクトリー・リセット (初期化)

全ての内容をリセットします。

「ALL」と表示されるまで、RIGHT フットスイッチを複数回押してください。LEFT フットスイッチを長押しすると、設定がリセットされます。リセットせずにメニューに戻る場合は、「BACK」と表示されるまで、RIGHT フットスイッチを複数回押して、LEFT フットスイッチを押します。

Multijack (マルチジャック)

赤い端子は、様々なフォーマットとして使用できる特別な端子です。その設定は、SETUP メニューの JACK で行います。

※ TAP 出力設定には、内部 DIP スイッチの設定を変更する必要があります。本体の裏蓋を開き、DIP スイッチのポジションを確認してください。

EXP – エクスプレッション入力として使用する。

※ 内部 DIP スイッチは ON-ON-ON に設定されている必要があります。

FT.SW - タップテンポ用のフットスイッチ入力として使用する。

※ 内部 DIP スイッチは ON-ON-ON に設定されている必要があります。

RLY – 非 MIDI 機器のタップテンポ出力として使用するタップ信号を出力します。

※ 内部 DIP スイッチは OFF-OFF-OFF に設定されている必要があります。

※ UTIL モードで、少なくとも 1 つの機能が TAP に設定されている必要があります。

MIDI - MIDI 出力端子として使用します。Empress や Meris などフォン MIDI を使用する機器に対応します。(TS 端子ケーブル使用)

※ 内部 DIP スイッチは ON-ON-ON に設定されている必要があります。

MIDI – TRS 端子ケーブルの Tip と Ring 両方から MIDI 信号を出力します。

Chase Bliss のように TRS 端子でフォン MIDI を受ける場合に対応します。

※ 内部 DIP スイッチは ON-ON-ON に設定されている必要があります。

UTIL - エクスプレッション入力とし、その信号を MIDI CC メッセージとして送信します。

※ 内部 DIP スイッチは ON-ON-ON に設定されている必要があります。

JUT :

送信する MIDI CC# を設定します。

「JCH」(適用する MIDI チャンネル/デバイス) の設定 :

どのチャンネル (機器) に対してエクスプレッション信号を送信するかを設定します。

設定は ABC と 0 の組み合わせで表示されます。

A=ch1 B=ch2 C=ch3 0=無効。

USB MIDI と USB HOST

• **USB HOST (デフォルト)**: 別売の gHOST ケーブルを接続すると、USB MIDI 出力として使用できます。Zoom MultiStomp シリーズがコントロールできます。

• **USB MIDI**: コンピューター/タブレットを本機でコントロールする場合や、ペダルボードの MIDI 機器をコンピューター/タブレットからコントロールしたい場合に使用するモードです。

Mix Wave®

Meris 社日本代理店 ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-3-2-3F

電話番号: 03-6804-1681 Email: sales@mixwave.co.jp Fax: 03-5450-8201

Web: <http://www.mixwave.co.jp>

本書は米国 Meris 社の許諾を得て同社の「ENZO Manual v.1c (2018年9月25日発行)」をミックスウェーブ株式会社が翻訳・編集したものです。無断複製・転載を禁じます。

Japanese Edition, © 2019 Mix Wave, Inc. All rights reserved.